



む T さ A し L の K

まずは私たちが楽しんでいきます！ それがケロポンズの原点です

ケロポンズ — 音楽ユニット

ケロちゃん 私は20代ごろからずっと吉祥寺界隈に住んでいて、今は通りを渡った練馬区にいるんですけど、気持ちはずっと武蔵野市民(笑)。

ポンちゃん 私たちの事務所「カエルちゃんオフィス」をつくる時、ケロちゃんも初代マネージャーもなじみ深い吉祥寺にしたらんだよね。そこから25年くらい吉祥寺のまちにはお世話になっていきます。

去年、市の「子どもの権利の日イベント」に呼んでいただいたのもうれしかったですね。ようやくホームグラウンドに恩返しできたかな、と。

ケロちゃん 小美濃市長もステージで私たちの代表曲「エビカニクス」を一緒に踊ってくれて感激しました。武蔵野市には「子どもの権利条例」があるって知って、素晴らしいなと思いましたね。

ポンちゃん 私も双子の子育てをする親なので、「子どもは一人ひとり

かけがえない存在で、一人の人間としての権利がある」という考え方に共感しました。

ケロちゃん 私たちの音楽も、「子ども向けだからこうしよう」じゃなくて、大人と子どもを対等な存在として捉えてつくっているんです。

ポンちゃん 子どもって正直だから、楽しければ一緒に歌うし、そうじゃなければ離れてしまう。まず私たちが楽しむことが大切なんですよね。

ケロちゃん 最近は3世代でステージを見に来ってくれる方も増えて、27年続けてきたことを実感します。

ポンちゃん 一つの時代も子どもたちは私たちにエネルギーをくれる存在です。ちよっと今日は調子悪いかなど思っても、子どもたちに会うと元気になるから「ステージ治療」って呼んでるんですけど(笑)。

ケロちゃん これからも、自分たちが楽しいと思えるうちは続けていこうねって言ってるんです。

ケロポンズ

ケロちゃん(増田裕子・写真右)とポンちゃん(平田明子・同左)による音楽ユニット。増田は東京都出身。国立音楽大学音楽学部教育音楽学科を卒業後、4年間の幼稚園勤務を経て音楽活動をスタート。平田は広島県出身、現在は長野県安曇野市在住。安田女子大学文学部児童教育学科卒業後、5年間の幼稚園勤務を経て、1999年に増田とケロポンズを結成。ケロポンズとして、親子コンサートなど年間100以上のステージに出演する。